

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、
山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、
日本海事新聞、海事プレス

平成28年速報

過去最高値を更新！

中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量
(対前年同期比5.5%増)

- 国際コンテナ取扱貨物量は68.9万 TEU で、対前年同期比5.5%増加
(P1参照)
- 外貿コンテナ取扱貨物量は50.6万 TEU で、対前年同期比1.5%増加
(P2参照)
- 主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は18.3万 TEU で、
対前年同期比18.4%増 (P3, 4参照)

注1: 全国の港湾管理者の調査結果をもとに集計

注2: 国際フィーダーコンテナとは、国際コンテナの内、神戸港や大阪港等を経由するコンテナをいう

注3: 外貿コンテナとは、中国地方の港湾を起終点とし、直接外国へ輸出入するコンテナをいう

注4: 国際コンテナ＝外貿コンテナ＋国際フィーダーコンテナ

注5: TEU＝Twenty-foot Equivalent Units 20 フィートコンテナに換算したコンテナの個数を表す

＜問い合わせ先＞ 中国地方整備局 港湾空港部 TEL: 082-511-3928 (直通) (平日・昼間)

クルーズ振興・港湾物流企画室長 菅 高徳 課長補佐 二原 和教

＜広報担当窓口＞ 中国地方整備局 港湾空港部 TEL: 082-511-3905 (直通) (平日・昼間)

計画企画官 こけぐち きよし
苔口 聖史

中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量

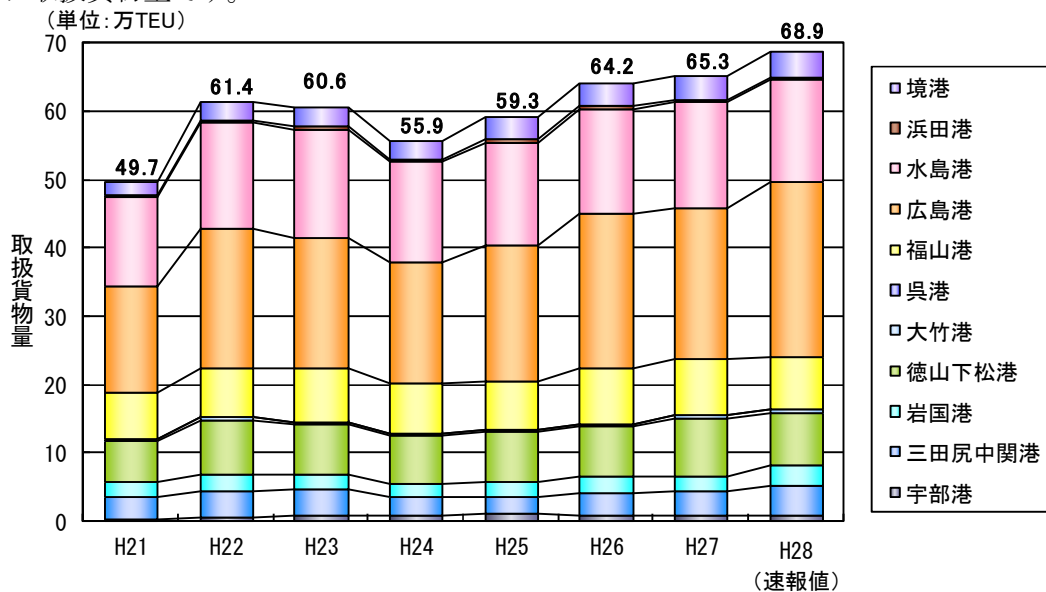
～ 平成28年速報 ～

■ 国際コンテナ取扱貨物量

- 中国地方の港湾（下関港を除く、以下同じ。）における平成28年の国際コンテナ取扱貨物量の速報値は68.9万TEU^{※1}であり、対前年同期比で5.5%増加しています。

（図－1、表－1 参照）

※『国際コンテナ取扱貨物量』とは「外貿コンテナ取扱貨物量^{※2}」と「国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{※3}」を足し合わせた取扱貨物量であり、中国地方の港湾を介して輸出入された正味のコンテナ取扱貨物量です。



図－1 【国際コンテナ取扱貨物量の推移】

表－1 【港別の国際コンテナ取扱貨物量（空コンテナを含む）】

（単位：TEU）

港 湾 名	平成27年			平成28年 （速報値）			平成27年 からの 増減 (TEU)	平成27年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境 港	34,006	18,118	15,888	37,156	19,403	17,753	3,150	9.3%	7.1%	11.7%
浜 田 港	3,877	1,834	2,043	4,154	2,018	2,136	277	7.1%	10.0%	4.6%
水 島 港	155,785	78,617	77,168	150,873	77,747	73,126	▼4,912	▼3.2%	▼1.1%	▼5.2%
広 島 港	221,509	111,574	109,935	255,130	128,087	127,043	33,621	15.2%	14.8%	15.6%
福 山 港	80,081	39,914	40,167	75,473	37,871	37,602	▼4,608	▼5.8%	▼5.1%	▼6.4%
大 竹 港	6,454	4,272	2,182	7,055	4,641	2,414	601	9.3%	8.6%	10.6%
徳山下松港	83,137	55,596	27,541	77,242	51,537	25,705	▼5,895	▼7.1%	▼7.3%	▼6.7%
岩 国 港	23,948	17,236	6,712	29,899	19,357	10,542	5,951	24.8%	12.3%	57.1%
三田尻中関港	35,298	23,361	11,937	43,813	29,386	14,427	8,515	24.1%	25.8%	20.9%
宇 部 港	8,564	5,462	3,102	7,889	5,216	2,673	▼675	▼7.9%	▼4.5%	▼13.8%
合 計	652,659	355,984	296,675	688,684	375,263	313,421	36,025	5.5%	5.4%	5.6%

注1）呉港については、平成24年11月より外貿コンテナ航路が一時休止。

■ 外貿コンテナ取扱貨物量^{※2}

- 中国地方の港湾における平成28年の外貿コンテナ取扱貨物量の速報値は50.6万TEUであり、対前年同期比で1.5%増加しています。〔輸出：1.9%増加、輸入：1.1%増加〕

(図-2、表-2参照)

- 外貿定期コンテナ就航航路数は、平成28年12月末時点で韓国、中国、台湾、香港、東南アジア、ロシア、北米方面へ週79.75便が就航しています。これは平成27年12月末(週79.75便)と同じです。

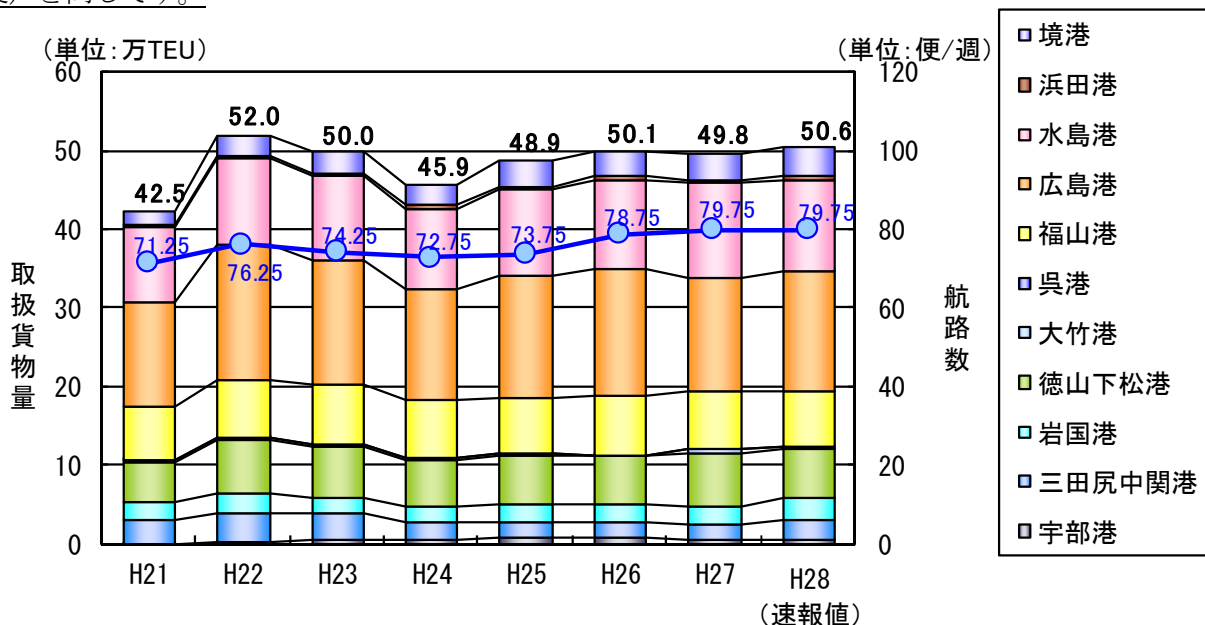


図-2 【外貿コンテナ取扱貨物量と週あたり就航航路数の推移】

表-2 【港別の外貿コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港 湾 名	平成27年			平成28年 (速報値)			平成27年 からの 増減 (TEU)	平成27年からの伸び率		
	合計	輸出	輸入	合計	輸出	輸入		合計	輸出	輸入
境 港	34,006	18,118	15,888	37,156	19,403	17,753	3,150	9.3%	7.1%	11.7%
浜 田 港	3,877	1,834	2,043	4,154	2,018	2,136	277	7.1%	10.0%	4.6%
水 島 港	119,710	61,007	58,703	117,405	62,377	55,028	▼2,305	▼1.9%	2.2%	▼6.3%
広 島 港	145,329	73,822	71,507	152,779	76,637	76,142	7,450	5.1%	3.8%	6.5%
福 山 港	74,399	34,875	39,524	68,884	32,662	36,222	▼5,515	▼7.4%	▼6.3%	▼8.4%
大 竹 港	3,655	1,652	2,003	3,901	1,870	2,031	246	6.7%	13.2%	1.4%
徳山下松港	68,211	45,609	22,602	62,601	41,227	21,374	▼5,610	▼8.2%	▼9.6%	▼5.4%
岩 国 港	22,099	15,568	6,531	27,779	17,495	10,284	5,680	25.7%	12.4%	57.5%
三田尻中関港	20,382	11,243	9,139	25,768	15,719	10,049	5,386	26.4%	39.8%	10.0%
宇 部 港	6,320	3,232	3,088	5,094	2,563	2,531	▼1,226	▼19.4%	▼20.7%	▼18.0%
合 計	497,988	266,960	231,028	505,521	271,971	233,550	7,533	1.5%	1.9%	1.1%

注1) 呉港については、平成24年11月より外貿コンテナ航路が一時休止。

■ 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{※3}

- 中国地方の港湾における平成28年の、主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は18.3万TEUであり、対前年同期比で18.4%増加しています。(図-3、表-3参照)

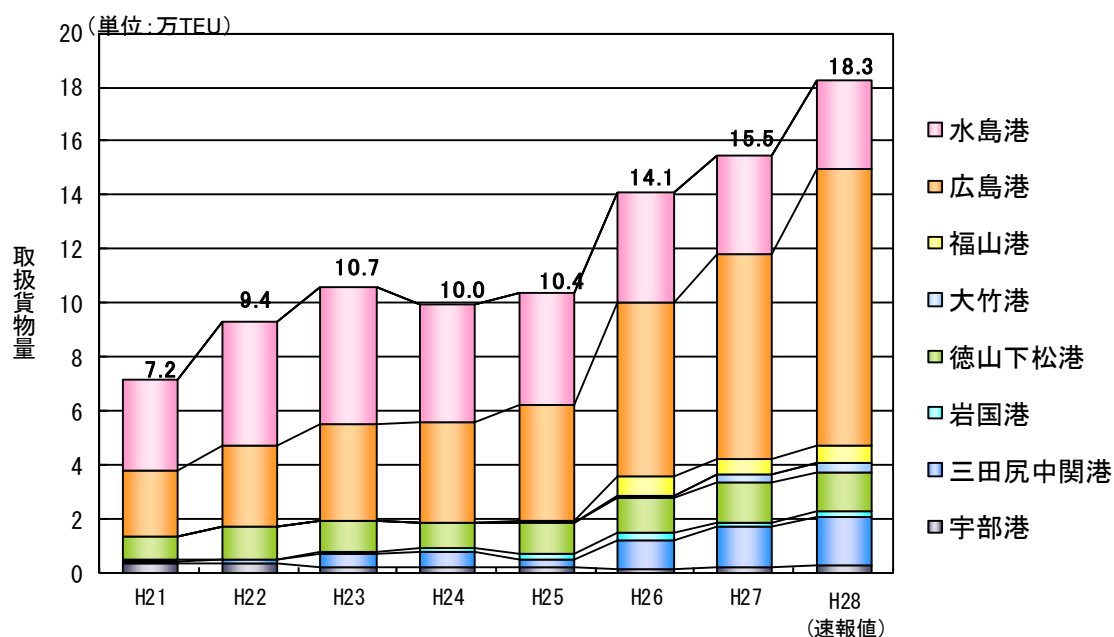


図-3 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

表-3 【港別の国際フィーダーコンテナ取扱貨物量（空コンテナを含む）】

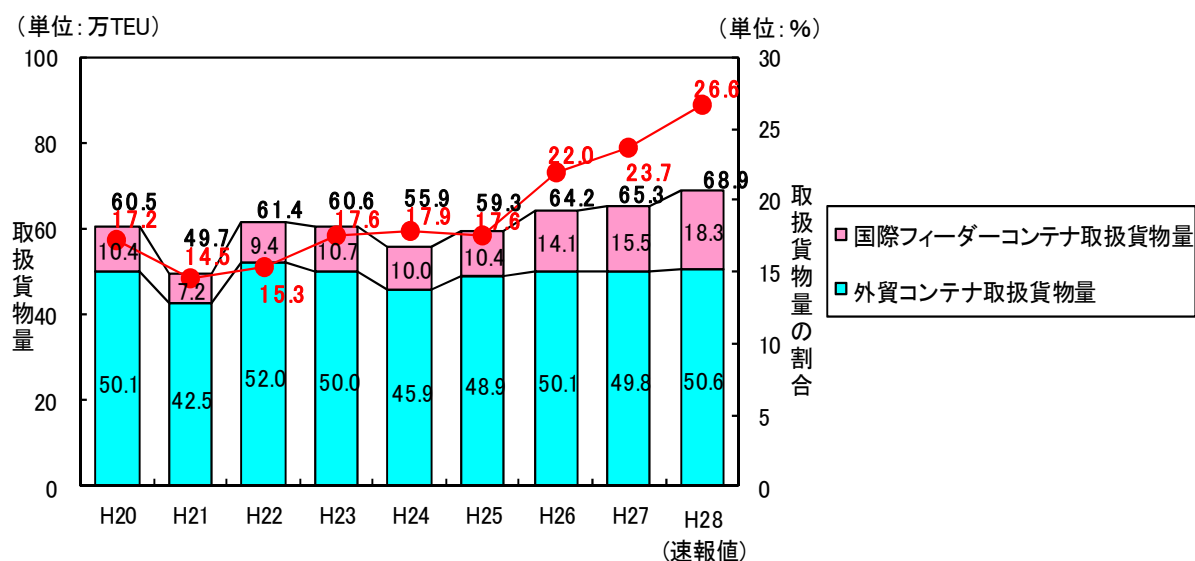
（単位：TEU）

港 湾 名	平成27年			平成28年 （速報値）			平成27年 からの増減 （TEU）	平成27年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
水 島 港	36,075	17,610	18,465	33,468	15,370	18,098	▼2,607	▼7.2%	▼12.7%	▼2.0%
広 島 港	76,180	37,752	38,428	102,351	51,450	50,901	26,171	34.4%	36.3%	32.5%
福 山 港	5,682	5,039	643	6,589	5,209	1,380	907	16.0%	3.4%	114.6%
大 竹 港	2,799	2,620	179	3,154	2,771	383	355	12.7%	5.8%	114.0%
徳山下松港	14,926	9,987	4,939	14,641	10,310	4,331	▼285	▼1.9%	3.2%	▼12.3%
岩 国 港	1,849	1,668	181	2,120	1,862	258	271	14.7%	11.6%	42.5%
三田尻中関港	14,916	12,118	2,798	18,045	13,667	4,378	3,129	21.0%	12.8%	56.5%
宇 部 港	2,244	2,230	14	2,795	2,653	142	551	24.6%	19.0%	914.3%
合 計	154,671	89,024	65,647	183,163	103,292	79,871	28,492	18.4%	16.0%	21.7%

- ・中国地方の港湾における平成28年の国際コンテナ取扱貨物量に対する国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合は26.6%となっており、近年で最も高い割合となっています。

(図－4、表－4参照)

- ・中国地方の港湾における平成28年の国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の港別内訳を見ると、広島港、水島港の2港における取扱量のみで全体の74%を占めています。(図－5参照)

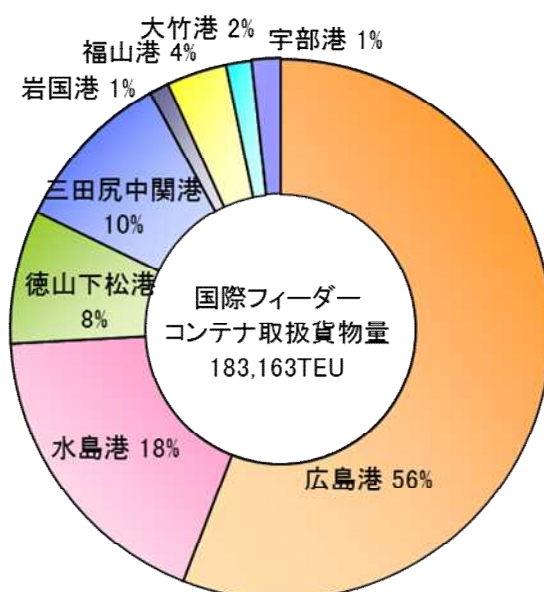


図－4 【国際コンテナ取扱貨物量に占める国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合】

表－4 【国際コンテナ取扱貨物量と国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

(単位: 万TEU、%)									
種別	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (速報値)
①国際フィーダーコンテナ取扱貨物量	10.4	7.2	9.4	10.7	10.0	10.4	14.1	15.5	18.3
②外貿コンテナ取扱貨物量	50.1	42.5	52.0	50.0	45.9	48.9	50.1	49.8	50.6
③国際コンテナ取扱貨物量 (①+②)	60.5	49.7	61.4	60.6	55.9	59.3	64.2	65.3	68.9
国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合(%) (①/③*100)	17.2	14.5	15.3	17.6	17.9	17.6	22.0	23.7	26.6

※国際コンテナ取扱貨物量は外貿コンテナ取扱貨物量と国際フィーダーコンテナ取扱貨物量との和



図－5 【平成28年 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の港別内訳】

■ 各港における国際コンテナ取扱貨物量の主な増減要因

平成28年の国際コンテナ取扱貨物量を平成27年と比較し、主な増減要因を以下のとおりまとめました。

△ 境港：3,150TEU 増（平成27年比 9.3%増）

フィリピン向けの「木製品」の輸出が増加しました。また、韓国からの「産業機械」の輸入が増加しました。

△ 浜田港：277TEU 増（平成27年比 7.1%増）

中国からの「化学薬品」の輸入が増加しました。

▼ 水島港：4,912TEU 減（平成27年比 3.2%減）

国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、北米等へ向けた「自動車部品」の移出が減少しました。また、「自動車部品」、「金属製品」の移入が減少しました。

△ 広島港：33,621TEU 増（平成27年比 15.2%増）

国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、東南アジア向けの「自動車部品」の移出が増加しました。

▼ 福山港：4,608TEU 減（平成27年同期比 5.8%減）

中国向けの「その他製造工業品」の輸出が減少しました。また、中国からの「その他製造工業品」の輸入が減少しました。

△ 大竹港：601TEU 増（平成27年比 9.3%増）

韓国からの「樹脂類」の輸入が減少したものの、韓国からの「紙・パルプ」の輸入が増加しました。

▼ 徳山下松港：5,895TEU 減（平成27年比 7.1%減）

中国向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」及び「化学薬品」の輸出が減少しました。

△ 岩国港：5,951TEU 増（平成27年比 24.8%増）

韓国向けの「紙・パルプ」の輸出が増加しました。

△ 三田尻中関港：8,515TEU 増（平成27年比 24.1%増）

オランダ向けの「自動車部品」の輸出が増加しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、ベトナム向けの「自動車部品」の移出が増加しました。

▼ 宇部港：675TEU 減（平成27年比 7.9%減）

中国向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸出が減少しました。

国際コンテナ貨物に関する主なトピックス（平成28年1月から平成29年3月まで）

【境港】 境港～台湾の新コンテナサービスを開始、新たなふ頭の整備

- ・平成28年4月より、境港が上海積み替えにより台湾主要港と結ばれ、輸入は16日から8日に短縮、輸出は18日から9日に短縮されました。
- ・平成28年9月、中野地区の埠頭が供用を開始しました。

【浜田港】 新たな助成制度の創設、新たな上屋の整備

- ・平成28年4月より、東南アジア（ASEAN加盟国）向けの貨物について、輸送費用の助成制度が創設されました。（島根県）
- ・福井地区に新たな上屋が整備されました。（平成28年10月）

【水島港】 臨港道路の整備、韓国航路が増便

- ・平成28年10月、11月より、韓国航路が増便されました。（韓国航路：週9便→週11便）
- ・平成29年3月、臨港道路「倉敷みなと大橋」が開通しました。

【広島港】 韓国・中国航路が減便、助成制度の拡充、臨港道路の4車線化供用

- ・平成27年12月から就航していた韓国・中国との定期コンテナ航路が平成28年7月に廃止されました。（韓国・中国航路：週1便の運航→ゼロ）
- ・平成28年4月より「広島港・福山港コンテナ貨物利用促進補助制度」を輸出貨物だけではなく、同条件で輸入貨物に対して拡充・適用しました。（広島県）
- ・平成29年2月、臨港道路（広島市西区商工センター～五日市地区）が暫定2車線から4車線化供用を開始しました。

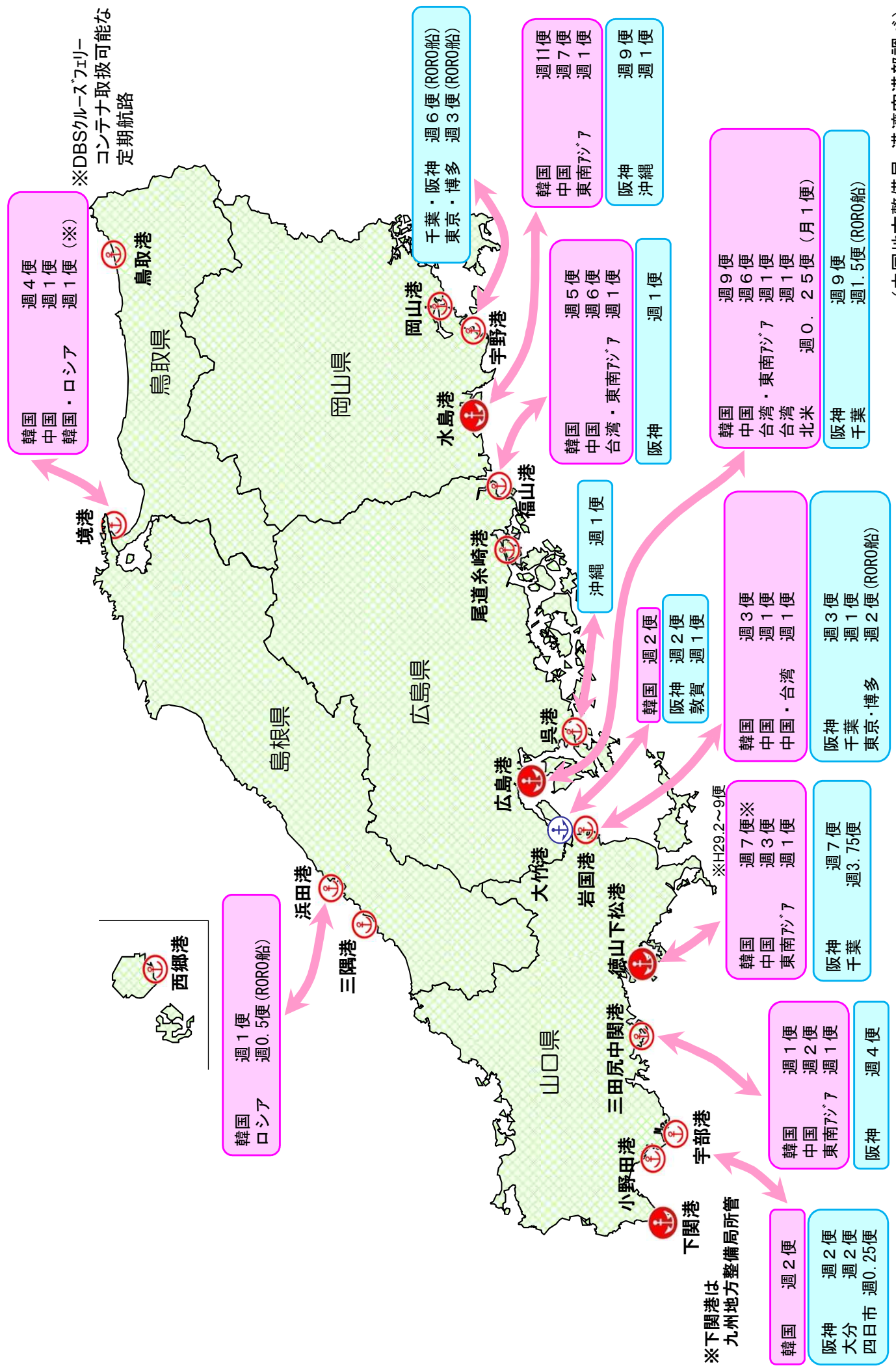
【福山港】 助成制度の拡充

- ・平成28年4月より「広島港・福山港コンテナ貨物利用促進補助制度」を輸出貨物だけではなく、同条件で輸入貨物に対して拡充・適用しました。（広島県）

【岩国港】 臨港道路の整備

- ・平成28年4月、岩国臨港道路（装束～新港）が開通（一部供用）しました。
残る区間（新港～室の木）は中国地方整備局で整備中。

中国地方の港湾における定期コンテナ航路の就航状況（平成28年12月末現在）



(調部空港) 整備地方(中国)

参考

※1 TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とは、20 フィート (コンテナの長さ) 換算のコンテナ取扱個数の単位です。国際輸送に用いられるコンテナには主に、20 フィートコンテナ、40 フィートコンテナがあり、40 フィートコンテナ1個は2TEUと計算します。20 フィートコンテナ (長さ約 6.06m×幅約 2.44m×高さ約 2.59m) 1 個の内容積は約 33m³です。



写真 港でのコンテナの取扱状況

※2 外貿コンテナ取扱貨物量とは、日本の港湾 (本報告中では中国地方の港湾) と海外の港湾間で直接輸出入される (取り扱われる) コンテナ取扱貨物量を言います。 (下図の「ダイレクト輸送」を参考)

※3 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量とは、コンテナ貨物を海外へ輸出する場合、中国地方の港と国内主要港 (阪神港、京浜港等) 間を内航船で輸送した後、国内主要港で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量を言います。コンテナ貨物を海外から輸入する場合はその逆の流れとなります。 (下図の「国際フィーダー輸送」を参考)

